



# グループホーム 萌

## 花の里

### 8月



### アコースティック演奏

アコースティック演奏のボランティアの方が来られ、私たちを楽しませてくれました。毎回、利用者様が好まれる曲とか懐かしい曲を演奏して下さいます。これまでにも来て頂いたボランティアの方々に、皆さん既に顔なじみとなっておられます。今回も素敵な演奏をして頂き、利用者様も、一緒に笑顔で歌を歌われていました。好きな歌を歌っている時は、利用者様も本当に気持ちが集中されています。



ボランティアの方を中心にして、ぐるっとテーブルを囲むようにして、お互いが向き合うように座っています。お互いが楽しく歌っている様子が伝わってきますね。

るのが表情に表れていました。歌詞カードを見ながら歌われたり、歌詞覚えておられる方は何も見ずに歌われたりと、「これ、よく若い頃に歌っていたなあ」と教えて下さいました。



### 犬との触れあい

職員が飼っている犬が遊びに来ました。いつもは黒いワンちゃんですが、今日は白いワンちゃんも一緒にいます。

ワンちゃんが入ってくると、「おいで、おいで」と呼ばれ、ワンちゃんに膝の上に来ると嬉しそうに撫でられています。犬も人間が分かるのか、大好きの人に話しかけても甘えてくれます。利用者様はみんな犬好きですね。動物達との触れあいは癒やされますね。



### お誕生日おめでとう!!

和やかな雰囲気でした。これからもお元気でいて下さいね。



### 守屋様のお誕生日会

守屋高枝様の八九歳のお誕生日会をしました。混ぜ寿司に茶碗蒸しに…。皆さんの大好きなメニューに、「おめでとう」「おいしいね」と口々に言われ、



### 遠山様ご家族の来所

お孫様ご家族が来所されました。総勢七人です。一気に賑やかになり、遠山様は皆さんの元気な姿を見て、目を細めて、とても嬉しそうでした。懐かしい話、最近のこと等、楽しいご家族との歓談の時を過ごされました。元気でいるので、また遊びに来てくれるのを楽しみにして待っていますね。



### 藤原様ご夫婦

ふるさと萌から藤原様の奥様が会いに来られました。お二人は本当に仲の良いご夫婦です。お互いに気遣ったりしている姿を見ていると、私たちがまで笑顔になります。長年連れ添ってこられたお二人の姿は、私たちも見習わないとね。これからも仲良く夫婦で居て下さい。次はふるさと萌へ藤原様の奥様に会いに行きますね。



### 型入れゲーム

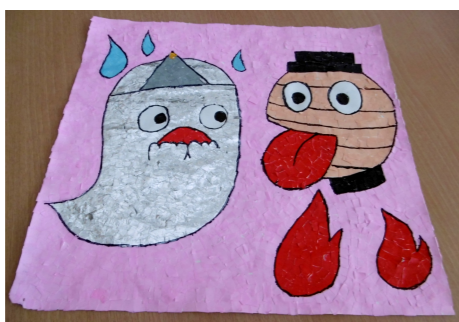
遠山様と後藤様が型入れゲームを始めました。黙々とされているところをパシヤリ! 「これ難しいのよ」「あら、その場所じゃない?」「あつ、向きが違ったわ」とお二人で協力しながらゲームを楽しまれました。単純なゲームですが、意外とおもしろいんですよ。



**お好み焼き作り**  
 昼食にお好み焼き作りをしました。「もう少し焼いた方がええわ」「ソースを塗ったで」と声を掛けながら、協力しあって焼きました。完成後は、「フワフワしとるが」「もちもちしとるで」と皆さん、喜んで完食されました。



**あんみつ作り**  
 この日は、おやつにあんみつを作りました。フルーツの缶詰やご家族から頂いた桃やぶどうを入れて、豪華なものが出来ました。白玉作りでは水を入れすぎて、慌てることもありました。慌てることもありませんでしたが、何とかいい形のものが出来ました。見た目の色合いや味に満足して頂いたようで、「おいしかったでー」と言ってもらえました。次回水加減に気をつけて作りたいですね。



**今月の壁画**  
 今月もたくさん作品が出来上がりました。色鮮やかなひまわり、おぼけ、ナイトトレイン、かわいい犬、犬と遊ぶ少女、サーフィンをしてる子供。どの作品も夏らしく、かわいい作品ばかりです。来月の作品も楽しみにしていますね。



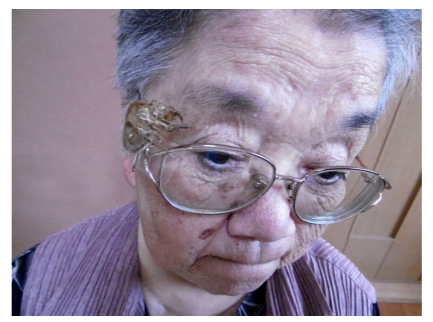
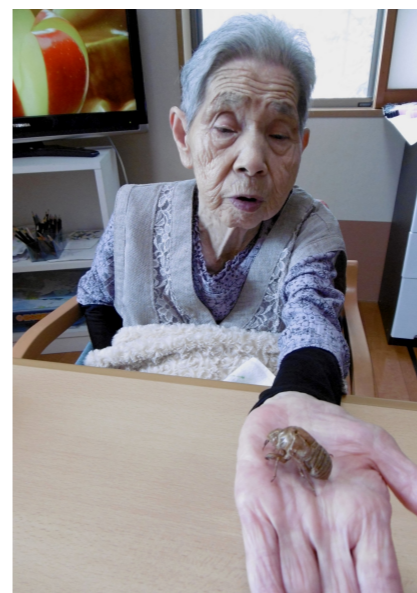
**足守へドライブ**  
 天気も良かったので、少し遠くまでドライブをしに足守まで行ってきました。「安富牧場」でおやつにジェラートを食べて帰りました。「おいしーな！」「あそこに馬がいる！」とにこにこ楽しそうに話をされていました。自然の中



で過ごすのは気持ちいいですね。安富牧場は、牧場体験が出来て、生産された物をその場で食べる事が出来ます。



**水島港へドライブ**  
 天気も良かったので水島港までドライブをして来ました。ちよと港に着くと船も停泊しており、海を眺めながら、「海の匂いがするなー」、遠くに見える船を見て、「あの船、どこへ行くのかな？」といろいろの思いを馳せたり、心地よい潮風を身体全体に受けながら楽しい時間を過ごしました。次はどこに行きましょうかね。お楽しみに待っていて下さいね。



**蝉の抜け殻を飾る**  
 屋内から外を見ておられると、「あれ！あそこのを採って来て！」と強い希望があり、「何かな？」と思い、扉に残っていた『蝉の抜け殻』を大事に採って来ました。「ここに付けて！」と眼鏡に止ませ写真を撮りました。「可愛いな」ととても喜ばれ、数日一緒に過ごされていました。昔を思い出され、こんな風に生きた蝉を捕ったり、抜け殻を採ったりとされていた様子が伺えます。「短い命じゃけん」と抜け殻をじっと見つめられていました。

